

飛騨の薬草に見る可能性 —化粧品への応用—



斐太高等学校 2年 野上莉彩子

はじめに

飛騨は、薬草資源が豊富であることを知り、その種類や活用方法に興味がわきました。

きっかけ:
幼少期からの舞台活動 → 「肌の美しさ」への関心

着眼点:
飛騨の豊富な薬草資源 × オーガニック化粧品



研究の目的

化粧品の開発

飛騨の薬草を安全で効果的に活用した化粧品の開発を行う。

広報・普及

地域の住民への広報活動等を通して、薬草の効能やその活用方法を広める。

研究の流れ

1 実態調査（飛騨の現状）



2 実践1（化粧水の試作）



3 振り返り（中間考察）



4 研究活動（薬草の効能）



5 実践2（化粧品の改良とワークショップ運営）



6 成果と今後の課題



1 実態調査

- 飛騨地域に多く生息する薬草の種類
- 飛騨市の薬草関連事業の状況把握
- 薬草資源活用のためのワークショップ



2 実践 1

(1) 飛騨の薬草調査

- 約245種の豊富な薬草

※今回はメナモミ・クロモジを使用

- 多くの活用方法

食べる・飲む・塗る・香りを楽しむ など



薬草を化粧品に！





(2) 製品の試作

<使用する薬草>

メナモミ・クロモジ

<抽出方法①>

ティーバッグにいれて抽出する方法

→ 長持ちしなかった





(2) 製品の試作

<抽出方法②>

チンキにグリセリンと精製水を加える方法

※チンキ：薬草を酒に漬けたもの。

（長期間保存可能）

※クロモジ：優れた美容効果に加えて上品な香りとリラックス効果を兼ね備える。葉より枝の方が効果や香りを最大限に引き出す。



(3) 広報活動

飛騨市薬草化粧水
～メナモミの巻～



@Y3K_PROJECT

MATERIAL (50mL用)

- ・水気のないメナモミ…適量
- ・ホワイトリカ…瓶に満タンに入る量
- ・メナモミ、ホワイトリカが入る瓶
- ・精製水…50mL
- ・グリセリン…1mL
- ・クロモジ(香り用)…お好みの量(～0.2gくらい)

HOW TO MAKE

1. チンキを作ろ

- ・メナモミとホワイトリカを瓶に入れ、約1～3ヶ
月漬けておく。

2. いざ、化粧水

- ・チンキ(5mL)、精製水、グリセリンを1つの容器
に入れてよく混ぜろ。

◎香りをつけたい場合

- ・細かく刻んだクロモジを化粧水に加えろ
(大きいと瓶につけた時気にならるのでよく刻んで
ください。)

できあがり!!



*出来上がったものは冷蔵庫で保管し、
1週間以内に使い切ってください。
チンキは長期間保管できます。



(3)

広報活動

葉
草
化
粧
水
の
作
り
方

2/2



3 振り返り

- 中学校の生徒に実際に使用してもらう
→しっとりとした、香りがよいという感想をもらった。
- 学校での活動報告を通して飛騨の薬草について生徒に知ってもらうことができた。

詳しいデータとして残していない。
安全なのかに考慮せず研究をしていた。





10 富山大学

開催日
9/6(土)

和漢医薬学を学ぶ

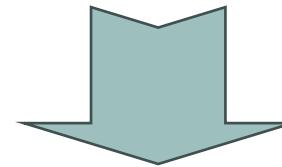
- ①13:00~14:30 「和漢薬を科学する」
- ②14:40~16:10 「身近な病気と和漢薬」

伝統医学は人類が永きにわたり疾病の予防や治療にあたってきた経験知の集積です。富山大学和漢医薬学総合研究所では、現代の先端科学技術を駆使して現代における様々な疾病の発症や予防、治療に関わる研究や、和漢薬をはじめとする伝統医学や伝統薬物について研究しています。本講座では健康な生活をおくるため、漢方薬をはじめとする和漢薬や身近な病気に関する医学・薬学についてわかりやすく解説します。

早川 芳弘(富山大学和漢医薬学総合研究所 教授)

1996年富山医科薬科大学(現:富山大学)薬学部卒業。2001年同大学院薬学系研究科博士後期課程修了(薬学博士)。2001年からピーター・マッカラムがんセンター(オーストラリア)上級研究員、2007年からメルク万有製薬つくば研究所リサーチフェロー、2009年より東京大学大学院薬学系研究科特任准教授、2012年富山大学和漢医薬学総合研究所准教授、2017年から同教授。

なぜ肌に良いのか、安全なのか？



富山大学 早川教授より
「前例を調べるとよい」
①薬草の効能について
②前例を調査する



新たな目標

- 安全性と効能の見直し
- 学生以外にも伝えることで飛騨の薬草の価値を広める
- 実際に薬草を体感してもらう



4 研究活動





★メナモミとは

- キク科の薬草
- 栽培しやすい、量とれる
- 食べたり飲んだりするものとしての効果はよく知られているが、化粧品に使用する物として知らない
- 飛騨市が普及に尽力しており、サポートも手厚い





★クロモジとは

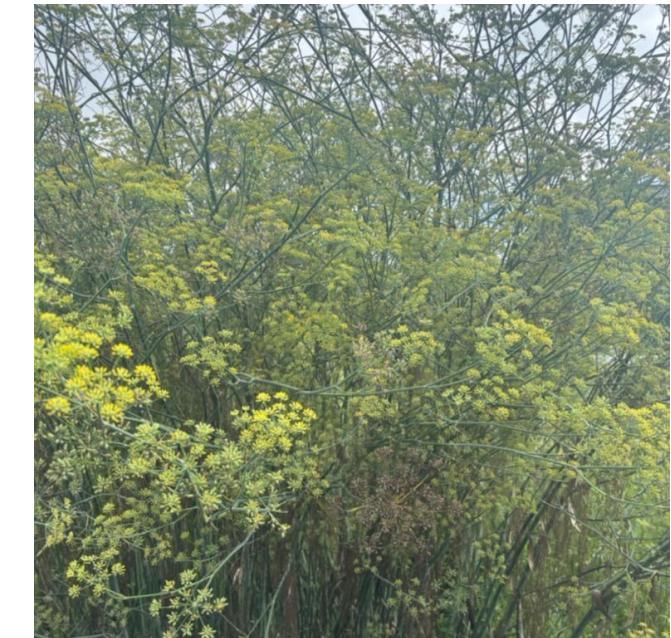
- 上品な香り（リナロールによる）
- 胃の調子を改善
- リラックス効果
- 使用した既存の化粧品あり
- ハンドクリームや入浴剤



5 実践 2

(1) 飛騨市役所からの支援

- ワークショップ開催の相談
- 広告や開催方法のアドバイス
- 薬草の収穫援助



(2) 吉城高校との連携

①吉城高校生の活動

- 飛騨の薬草を活用したお菓子作り
- クッキー作りワークショップの開催（令和7年3月）

②連携と協力

- 活動状況と活動予定の共有
- ワークショップの共同開催の計画



(3) 今後の活動

①ワークショップの開催

- 令和7年12月20日(土)
- “ひだ森のめぐみ”
- メナモミ化粧水、チンキ30ml
- 吉城高校生徒、飛騨市役所と連携



(3) 今後の活動

②ハンドクリームの開発

- 抽出油からハンドクリームの形にする段階で失敗
- 抽出油の香りがクロモジそのもので、香りがよかったです

★レシピ

- ・ワークショップ、再実験を通して決定



6 成果と今後の課題

01

飛騨市役所や吉城高校生徒など地域の多くの方の協力で、薬草活動ができている。

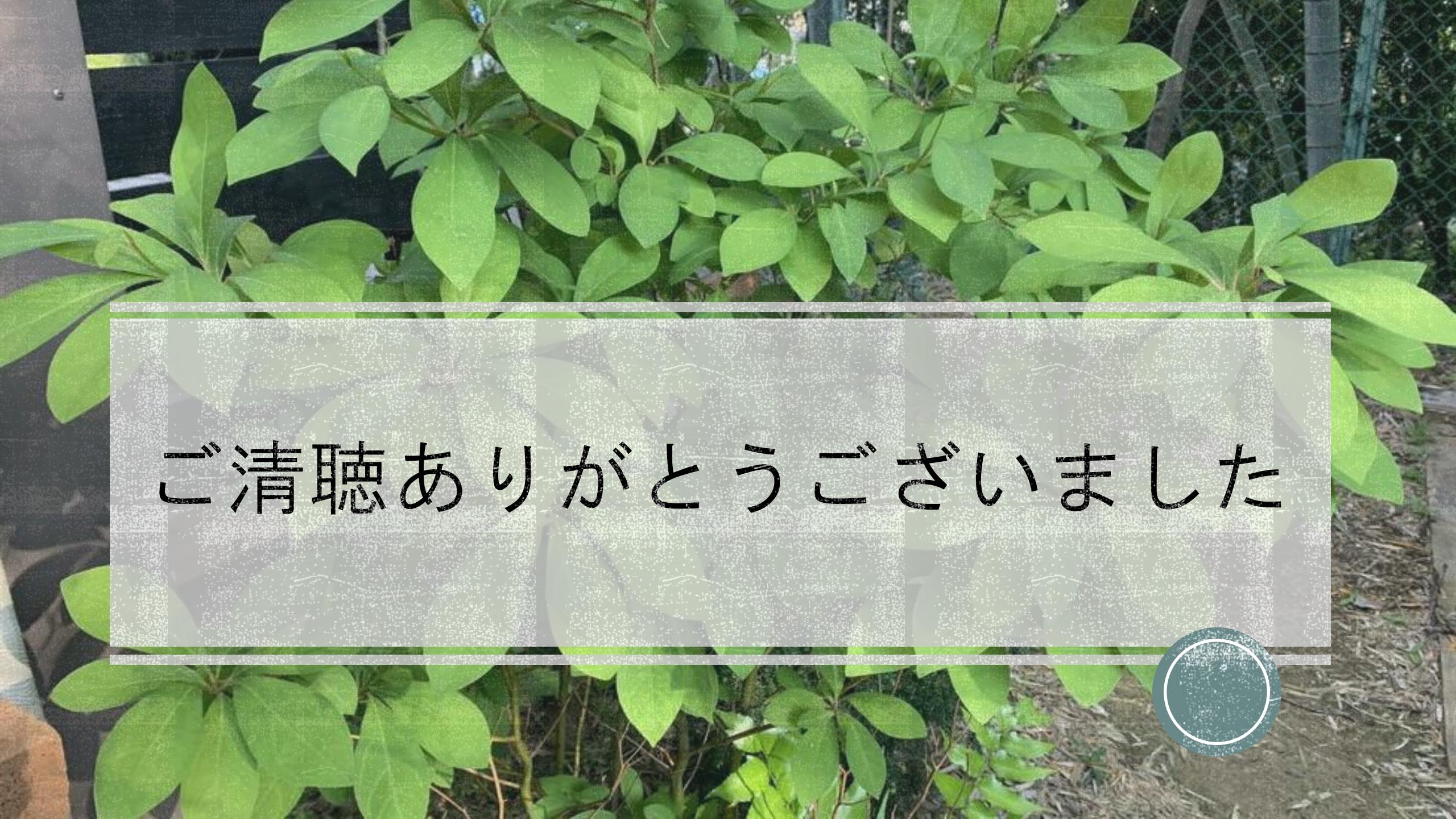
02

学校での探究活動によって少しづつ学生に薬草が広まっているが、広報活動に課題がある。

03

さらに薬草の化粧品利用の研究を続けるとともに、効果的な広報活動の方法を実践したい。





ご清聴ありがとうございました

